



森税理士の「ちょっと気になる税務のはなし」

アグリビジネス・ソリューションズ株式会社
代表取締役 森 剛一氏

税務相談窓口

事業推進課 経営指導相談係

■問い合わせ先

TEL : 0824-64-2072 Fax : 0824-64-2233

法人化のメリット

1. 代表者の給与所得控除が節税に

家族経営については、すべての経営を法人化する必要はありません。法人化をするかどうかの判断は、後継者に「継承すべき経営」かどうかで決まってきます。継承すべき経営かどうかは、継承すべき経営資源を持っているかどうかです。たとえば、面的に集積した農地があって継承できないと分散してしまうとか、多額の農業施設への投資をしているので継承できないと無駄になってしまうといったケースです。高い生産技術や農産物のブランドを持っているなど無形の資産も経営資源として重要な要素になります。

事業主の所得が多くなると、税務上は法人経営が有利になります。農業法人になると代表者には法人から役員報酬を支給することになります。個人事業では代表者の報酬は事業所得となりますが、法人からの役員報酬は給与所得となります。法人が支出した役員報酬は原則として全額が損金になる一方で、代表者が受け取った役員報酬からは給与所得控除が差し引かれます。このように役員報酬については、給与所得控除分に課税されないことが税制上の大きなメリットです。また、青色申告法人の場合、赤字(欠損金)を7年間(平成13年3月以前開始事業年度の欠損金については5年間)に渡って繰り越すことができ、後の年度に生じた黒字(所得)から控除することができます。農業は、市況や作況の変動により年々の所得が不安定になりがちですが、所得が膨らんだ年度の納税額を欠損金の繰越控除により減少させることができます。

このように法人化した場合、税制上でも大きなメリットがあります。節税の観点からのみ法人化を考えると望ましくありませんが、メリットの一つとしてこれを活用することも重要です。目安としては事業主の所得が年600万円を超えるかどうかです。ただし、事業専従者である家族従事者についても、その半分以上の専従者給与を支給していることが前提になります。なお、法人化すると所得税の負担が軽くなる反面、社会保険料の負担が増えることに注意する必要があります。

法人化すると赤字でも最低年7万円の法人住民税均等割が課税されます。したがって、月額30万円(年収360万円)程度の役員報酬を設定して黒字になるのであれば、法人化のメリットはありません。なぜな

ら、役員報酬による給与所得控除額による所得税の減少額が、法人住民税均等割の7万円を上回らないと税金が少なくなるからです。年収360万円の場合、給与所得控除額が126万円になりますが、この場合、個人経営のときの青色申告特別控除額の65万円よりも所得控除額が61万円上回ります。これによる節税額は、所得税の税率が5%または10%、住民税の税率が10%となるため、合わせて10万円程度になります。

2. 法人形態は「株式会社」が基本

株式会社には、事業の制限がないのが大きなメリットです。これに対して、農事組合法人の場合、実施できる事業は、農業及び農業関連事業に限られます。このため、農事組合法人の場合、本来、農作業以外の作業を請け負うことができないなど、事業の発展に制約があります。また、畜産経営については、農事組合法人としても法人事業税が非課税とはなりませんので、農事組合法人にするメリットはありません。

数戸共同で法人化する場合には、農事組合法人はお勧めできません。なぜなら、農事組合法人の一人一票制が迅速な意思決定を妨げることが多いからです。また、数戸共同の場合、設立当初は経営目的などについて共通認識ができており、参加意識も高いが、数年もすると構成員の間で協業経営に対する温度差が生まれてきます。このとき経営者が新しい事業展開などをしようとしても、組合の意思決定としては保守的な判断になりがちです。さらに、資本充実のため、経営者が増資を引き受けようとしても、一人一票制のもとでは増資しても経営のイニシアティブを取ることは難しいのが現実です。これに対して、家族経営を法人化する場合、経営者が誰であるかは明確になっており、農事組合法人にしたからといって意思決定が問題になることはないでしょう。

農事組合法人として設立した場合であっても、株式会社組織に変更することができ、組織変更に伴って法人税がかかることはありません。一方、株式会社は農事組合法人に組織変更することができないため、どうしても農事組合法人にしたい場合には、新規に農事組合法人を設立する必要があります。この場合、旧経営体である株式会社は休眠させるか解散することになりますが、解散した場合には清算所得に課税されて法人税の負担が生ずることがあります。

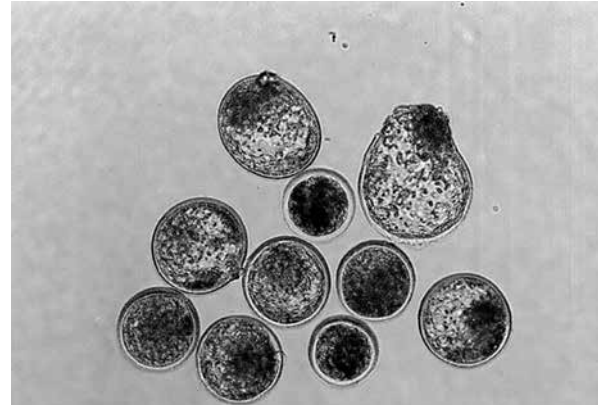
今こそ受精卵移植！ 受精卵の生産元別の E T 和牛子牛販売成績

県立総合技術研究所畜産技術センター育種繁殖研究部

日高健雅 氏

【受精卵移植のまとめ】

平成 26 年 1 月から掲載させて頂いた「今こそ受精卵移植！」ですが、今月がシリーズの最終月となります。15 回にわたって、受精卵移植のメリットや技術について紹介しましたが、最終回ということで、これまでの記事の重要ポイントをまとめました。



◆受精卵移植の情勢 広がる受精卵移植・儲かる受精卵移植！

- ・増加傾向にある移植頭数，受胎率も高く推移(記事掲載：2014 年 1 月号)

移植体制や産子の販売体制が整い、酪農経営で和牛受精卵移植の位置づけが大きくなり移植頭数は増加傾向です。また、移植受胎率も 50%以上と安定しています。

- ・ E T レースで 30 万円以上の販売額！(記事掲載：2014 年 2 月号，2015 年 1 月号)

E T 産子の販売額は，30 万円以上と高く推移し，F 1 との差は 15 万円以上になっています！

◆実践！ 受精卵移植技術

- ・発情同期化による移植日調整のすすめ(記事掲載：2014 年 5 月号)

ホルモン処置で発情を同期化してから移植すると，自然発情より受精卵移植の受胎率が高くなります。

- ・移植に適した日について(体内受精卵と体外受精卵の違い)(記事掲載：2014 年 4 月号)

発情日を 0 日とし，体内受精卵は 7 日目に，体外受精卵は 8 日目に移植しましょう！

◆雌判定した受精卵を用いた後継雌牛生産

- ・受精卵を活用した後継牛生産(記事掲載：2014 年 6 月号)

受精卵の細胞の一部を使って性を判定すれば，雌の胚を選んで移植することが可能です！

- ・乳牛からの採卵の影響(記事掲載：2014 年 7 月号)

乳量は，採卵翌日の夕方には回復し(低下量は平均 1.3 ℓ)，分娩間隔に影響はありません！

◆応用編 受精卵移植で白血病防除，遺伝子活用した特徴ある牛生産

- ・急増する白血病，胎盤感染を防いで清浄化を目指す！(記事掲載：2014 年 8 月，9 月，10 月号)

白血病感染牛から生産した雌の受精卵でも，清浄化処理をして陰性牛に受胎させれば，陰性の後継牛が確保できます！

- ・遺伝子診断された「受精卵」の生産(記事掲載：2014 年 11 月，12 月号)

遺伝子診断した受精卵の生産により，生まれてくる子牛の性別，産肉能力などの遺伝情報が妊娠前に判明します。これにより，改良の飛躍的な効率化が期待できます。

【最後に】

受精卵移植技術には多くの課題が残されていますが，「まだ発展の余地がある技術」と言えます。育種繁殖研究部のメンバーで受精卵の生産・研究を頑張っています。近い将来，酪農家の皆さんが安心して簡単に取り組める技術となるよう，さらに受精卵移植技術についての研究を進めます！